



平成 18 年度  
発掘調査成果速報！

伊勢原市 下北原遺跡

古代の円形土坑群

下北原遺跡の発掘調査

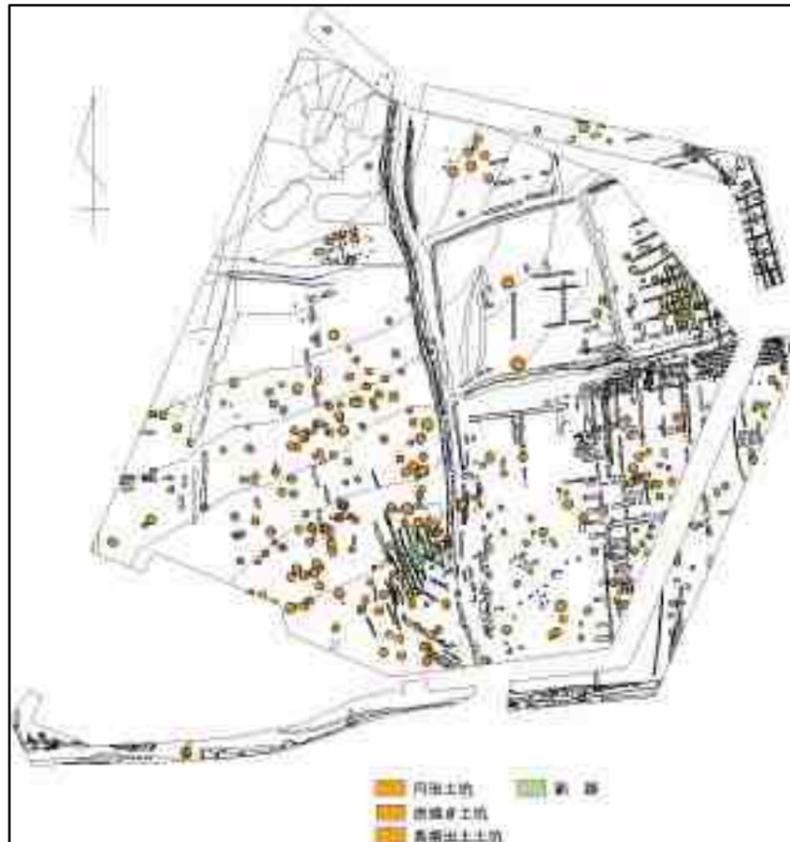
下北原遺跡は、神奈川県内広域水道企業団による伊勢原調整池築造事業に伴う埋蔵文化財の記録保存として、発掘調査を実施しています。今回の調査は、年度を跨いで行われ、2005 年度は、外周道路範囲の調査を行いました。また今年度は、調整池本体範囲の調査を実施しております。

2005 年度に行った調査では、中世～近世の畑作に関連する長方形土坑や溝、旧農道と思われる道、古代の円形土坑、溝、畝跡、縄文時代の集石、落とし穴が検出されました。

今年度の調査における、これまでの成果として、調査区全体から外周道路範囲と同様、近世～古代の土坑を中心とした遺構が多数発見されています。

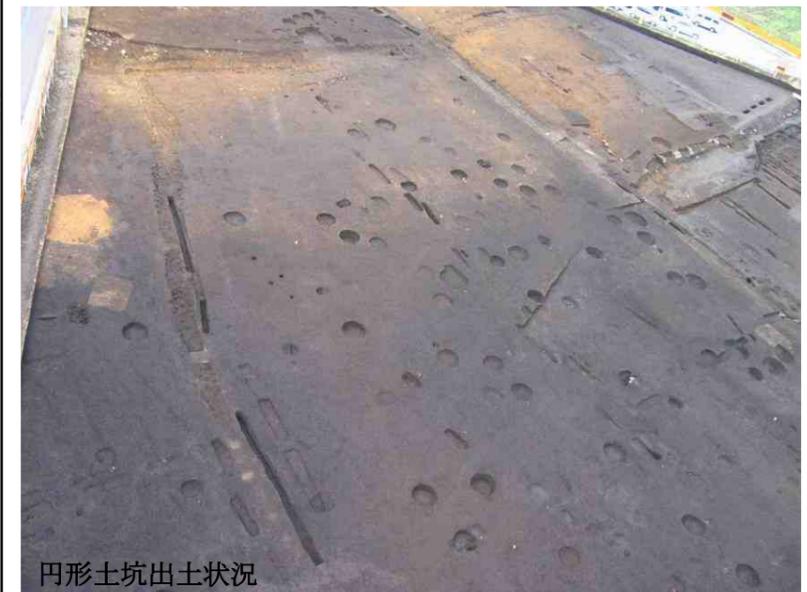
現在は古代の調査がほぼ終了し、縄文時代の調査に移行していますが、やはり縄文時代中期および後期の土器や石器が多数発見されています。

浄水場建設ときに発掘調査された敷石住居跡の発見が今回の調査でも期待されましたが、残念ながら今現在、発見には至っていません。



下北原遺跡出土の円形土坑群

今回、下北原遺跡から出土した円形土坑群は県内でも屈指の出土数を誇ります。円形土坑は一般的に畑作に伴う掘り込みと考えられていますが、今回の調査で確認された土坑の中には炭焼き土坑とされる土坑内に炭や焼土が詰まったもの、更にこれらの中には火葬骨を伴うものもありました。その他、馬の歯が出土したもの、大型の礫が出土したものなど、単純に畑作と関連するものとは言い難い円形土坑も発見されています。特に炭焼き土坑は宮ヶ瀬遺跡群でも発見・報告されており、県内でも貴重な出土事例と言えるでしょう。



円形土坑出土状況



馬歯出土土坑



馬歯出土状況



炭出土土坑



炭出土状況

下北原遺跡は昭和 48 年に伊勢原浄水場建設に伴う発掘調査が行われており、当時はまだ出土事例が少なかった縄文時代後期の敷石住居跡、環礫方形配石遺構などがまとめて発見され、更にこの調査で初めて確認された文様の土器には下北原式土器という名が付けられ、全国的にも有名な遺跡となり、現在でも浄水場内に敷石住居が保存されています。

S 48 年当時（現在の浄水場南西隅付近より大山方面）

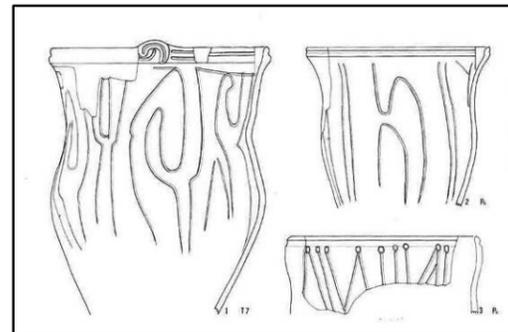


現在の状況

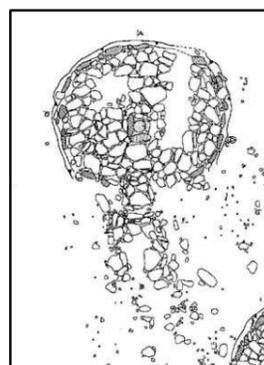


下北原遺跡全景

当時の発見資料



下北原式土器



敷石住居跡



集石（縄文時代）



落とし穴（縄文時代）



浅鉢土器（勝坂式）



注口土器（堀ノ内式）



石器出土状況（旧石器時代）



溝状遺構（中世～近世）



畝跡・土坑（中世～近世）

発掘調査成果速報  
伊勢原市 下北原遺跡  
2006.6.24  
財団法人 かながわ考古学財団  
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1  
TEL 045-252-8689